

2021熱気球ホンダグランプリ第2戦

一関・平泉バルーンフェスティバル2021

10月15日(金)～17日(日)の3日間にかけて、一関水辺プラザをメイン会場に、『一関・平泉バルーンフェスティバル2021』が開催されました。

本大会は東北エリア唯一の本格的な熱気球競技会であり、今年は過去最多の30チームがエントリーし、空を彩りました。

今大会も、新型コロナウイルス感染拡大防止策として無観客で行われたため、地元の人は離れたところから選手に向かって手を振って応援していました。

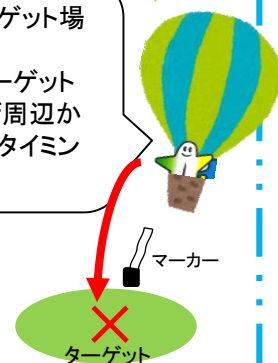


水辺プラザ周辺

16日(金)に行われた競技は、ジャッジ・デクレアド・ゴール(JDG)です。競技者は離陸地からターゲットがある場所まで飛行し、ターゲットめがけてマーカーを投下します。投下したマーカーとターゲット中心からの距離が短い人が勝利となります。

今年は一関水辺プラザがターゲット場所でした。

選手は萩荘・巖美方面からターゲットを目指して離陸し、水辺プラザ周辺から気球をコントロールして投下タイミングを伺っていました。



一関市街地上空を飛行する気球群



水辺プラザを目指す選手



気球をコントロールしている様子

※バックナンバーはこちら

http://www.thr.mlit.go.jp/iwate/syuttyoujiyo/itinooseki/2021/2021_ichinoseki.htm

編集後記

たくさんの気球が上空を彩る景色は、いつみても壮大です。今回は天候不良のため、16日の午前の部のみのフライトとなりました。来年は三日とも晴天になってほしいですね☀(す)